

別紙 金属薄膜付着部品の取り扱い

金属薄膜付着部品の取り扱いに関する注意

薄膜形成装置において、内部治具やシールド類に付着した特定の金属薄膜は、その表面に衝撃を加えたり機械的に摩擦したりすることにより発火する場合があります。特にチャンバー内を大気開放した直後や薄膜が剥離して新たに露出した表面は活性な状態であるため、摩擦や衝撃などにより発火する場合があります。金属膜であれば発生の可能性のある現象ですが、特に高融点金属（Ti、W、Mo、Ta等）およびこれらのシリサイド、マグネシウム、ランタン、ジルコニウム、ハフニウム、触媒作用のある白金と他の金属との混合膜などでは非常に発生しやすいといわれています。

発火のし易さや規模は膜材料や成膜条件、膜表面状態や温度によって異なります。

これらの金属薄膜が付着したシールド類を交換する作業では以下の点についてご注意ください。

- ⚠ 作業に当たっては防災面（保護面）および安全手袋等の保護具を必ず着用してください。
- ⚠ 剥離した薄膜を掃除機（防爆型を含む）で吸い取ると掃除機内部で発火する恐れがあります。掃除機（防爆型を含む）は使用しないでください。
- ⚠ 剥離した薄膜の落下や飛散に注意し、周囲に燃えやすい物（クリーン紙や清浄用アルコールなど）を置かないようにしてください。着火または引火の恐れがあります。
- ⚠ 剥離した薄膜は不燃性の容器に回収し他の材料や燃えやすいものと一緒に収容しないでください。
- ⚠ 薄膜が付着している内部治具やシールド類を運搬する場合は、衝撃や摩擦が加わらないよう、十分な注意を払ってください。運搬の衝撃や摩擦により発火する恐れがあります。
- ⚠ 薄膜を剥がす作業は対応設備のある場所で行ってください。また、訓練を受けた作業員しか行ってはいけません。

	 警告
	発火または引火する恐れがあります。 金属薄膜の付着した部品は取り扱いに十分注意してください。